

笠原小学校・笠原中学校「外国語(英語)科」における目標の段階表 【書くこと】

外国語科の目標									
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。									
コミュニケーションへの関心・意欲・態度			外国語表現の能力				言語や文化についての知識・理解		
学年	取組	継続	話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	評価時期・方法
中 第三 学年	うまく書けないところがある場合には、知っている語句や表現を用いて積極的に書いている。	うまく書けないところがある場合には、知っている語句や表現を用いて書き続けている。		客観的な事実や様々な考え、経験等に基づいた自分の意見や主張、その根拠等を	段落と段落のつながりを意識して	50語前後、7文程度の英語で書くことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・単元テスト ・中間テスト、期末テスト ・パフォーマンステスト ・LESSON 4 (平和学習レポート) ・LESSON 6 (偉人紹介)
中 第二 学年	うまく書けないところがある場合には、知っている語句や表現を用いたりして積極的に書いている。	うまく書けないところがある場合には、知っている語句や表現を用いたりして書き続けている。		自分の考えや気持ち、その理由、体験や事実等を	3段構成など、全体の構成を整えて	30語前後、5文程度の英語で書くことができる。	中学校第2学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・単元テスト ・中間テスト、期末テスト ・パフォーマンステスト ・LESSON 1, 2 (忘れられないエピソード) ・LESSON 4 (平和学習レポート) ・LESSON 6 (偉人紹介)
中 第一 学年	間違えることを恐れず、文章や文章を積極的に書いている。 うまく書けないところがある場合には、辞書を活用して積極的に書いている。	間違えることを恐れず、文章や文章を積極的に書き続けている。 うまく書けないところがある場合には、辞書を活用して書き続けている。	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等について	自分の考えや気持ち、その理由、身の回りの出来事や事実等を	・読み手や場面、状況に応じた表現を用いて ・文の構成要素である主語、動詞、目的語、補語などの語順に注意して ・肯定文や疑問文、否定文を書く際の語順や語形の変化に注意して ・文と文の順序や相互の関連に注意を払い、一貫性のある文章を意識して	15語前後、3文程度の英語で書くことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・単元テスト ・中間テスト、期末テスト ・パフォーマンステスト ・LESSON 4 (環境ポスター) ・LESSON 8 (笠原中ホームページ) ・LESSON 9 (一年間の思い出作文)
第 六 年 年	間違えることを恐れず、単語や文を積極的に書いている。	(間違えることを恐れず、単語や文を書き続けている。)	自分自身や身近な事柄について	好きなものやすること、誕生日、将来の夢等を	読み手が理解しやすいように単語と単語の間に適切な間隔を空けて ・語や文における大文字、小文字を正しく使い分けて ・文の内容に合わせて、符号を正しく用いて ・主語と動詞を的確にとらえて	20語前後、4文程度の英語を書き写すことができる。	・これまでに学習してきたことに加え、英文を書くときの決まりを理解している。 ・英語における符号の意味を正しく理解している。 ・主語、動詞など、英語における文の構成要素について理解している。		文字特化(書く)単元「卒業文集をつくらう」におけるワークシート 文字特化(書く)単元「卒業文集をつくらう」の後に行うペーパーテスト
第 五 年 年	間違えることを恐れず、単語を積極的に書いている。	(間違えることを恐れず、単語を書き続けている。)	身近な事柄について	色や物の名前、教室名、友だちの好きな食べ物等を	・読み手が理解しやすいように、文字と文字の間隔が整った、ひとまとまりの単語で ・語における大文字、小文字を正しく使い分けて	3～5文字程度からなる単語を書き写すことができる。	・これまでに学習してきたことに加え、単語を書くときの決まりを理解している。 ・語における大文字、小文字を正しく使い分けることを理解している。		文字特化(書く)単元「なかよしすごろくをつくらう」におけるワークシート 文字特化(書く)単元「なかよしすごろくをつくらう」の後に行うペーパーテスト
第 四 年 年	間違えることを恐れず、アルファベットの 大文字、小文字を積極的に書いている。 分らない文字がある場合には、見本を調べ、それを手がかりにして積極的に書いている。	(間違えることを恐れず、アルファベットの 大文字、小文字を書き続けている。) 分らない文字がある場合には、見本を調べ、それを手がかりにして書き続けている。)			読み手が理解しやすいように丁寧に ・正しい文字の大きさや位置で	アルファベットの 大文字と小文字全52文字 を書くことができる。	アルファベットの 大文字と小文字の形と、4 線上の正しい位置を 理解している。		文字特化(書く)単元「アルファベットを書こう」におけるワークシート 文字特化(書く)単元「アルファベットを書こう」の後に行うペーパーテスト
第 三 年 年	アルファベットの大文字と小文字を形作ったり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。	(アルファベットの大文字と小文字を形作ったり、書いたりする活動に取り組んでいる。)				アルファベットの大文字と小文字を書くことに慣れ親しむ。	アルファベットの大文字と小文字は、形の似ているものとそうでないものがあることに気付いている。 アルファベットの大文字と小文字は、4線上の異なる位置に書くものがあることに気付いている。		【評価しない】
第 二 年 年	アルファベットの 小文字を形作ったり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。	(アルファベットの小文字を形作ったり、書いたりする活動に取り組んでいる。)				自分が活動で用いたアルファベットの小文字を書くことに慣れ親しむ。	アルファベットの小文字は4線上の様々な位置に書くことに気付いている。		【評価しない】
第 一 年 年	アルファベットの大文字を形作ったり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。 見本を手がかりにして積極的に書いている。	(アルファベットの大文字を形作ったり、書いたりする活動に取り組んでいる。) 見本を手がかりにして書き続けている。)			形や4線を意識して	自分が活動で用いたアルファベットの大文字を書くことに慣れ親しむ。	アルファベットの大文字は4線上の2段に書くことに気付いている。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	【評価しない】

空白のマトリックスについては、その学年において新たな指導内容がないことを意味し、既習の指導内容を繰り返し継続的に指導するものとする。